

CIGSシンポジウム 『セーフティネット医療福祉事業体の成長戦略』

＜シンポジウム開催の趣旨＞

税と社会保障制度の一体改革が大きな政策課題になっている。その中で医療福祉提供体制の改革は重要テーマの一つであり、厚生労働省は「地域包括ケア」を改革の柱に据えている。地域包括ケアとは、急性期入院ケアから外来、介護、在宅ケアに至る様々な医療福祉サービスを継ぎ目なく提供する仕組みを連携に基づき創ることにより、医療福祉の質向上とコスト節約を同時達成しようとする考え方である。

一般論としてわが国の場合、個々の医療機関、介護施設等がバラバラに経営されており、連携を診療・介護報酬で誘導することはうまくいっていない。しかし、その一方で、地域医療圏内に様々な機能を有する医療福祉施設を配置し、地域包括ケアの形を創りつつある事業体も存在する。これらの事業体は国・公立病院以上に公益機能を果たしており、セーフティネット医療福祉事業体の核になっている。

当研究所は、わが国で代表的な医療福祉事業体の経営者の方々と共に、11月に米国バージニア州にある統合ヘルスケアネットワークSentara Healthcareを視察した。当研究所よりその視察結果をご報告すると共に、わが国の医療福祉事業体の経営者に自らの成長戦略を語って頂く。

＜開催概要＞

日 時： 2011年12月14日（水）13：00 - 17：00

会 場： 新丸ビル9F コンファレンススクエア901 （東京都千代田区丸の内1-5-1）

参加費： 無料 ・ 定 員： 120名

＜プログラム＞

13:00 - 13:10 理事長挨拶

- ・ 福井 俊彦 （キャノングローバル戦略研究所 理事長）

13:10 - 15:10 第一部：講演（4名） 登壇順

- ・ 松山 幸弘 （キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
「セーフティネット医療福祉事業体の成長戦略」
- ・ 神野 正博 （社会医療法人財団董仙会理事長、全日本病院協会副会長）
「日本における地域包括ケア～IHNの可能性を考える」
- ・ 田口 義丈 （社会医療法人生長会理事長）
「社会医療法人生長会の経営と課題」
- ・ 山本 貴道 （社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷浜松病院院長補佐）
「聖隷福祉事業団の事業展開 ～社会福祉法人としての使命の実現～」

15:10 - 15:30 休憩（20分）

15:30 - 17:00 第二部：パネルディスカッション

- モデレーター・松山 幸弘 （キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）

講演者略歴（五十音順）


神野 正博
社会医療法人財団董仙会（とうせんかい） 恵寿総合病院理事長

1980年日本医科大学卒医籍登録。1986年金沢大学大学院医学専攻科卒（医学博士）。金沢大学第2外科助手を経て、1992年恵寿総合病院外科科長、1993年同病院長、1995年特定医療法人財団董仙会（2008年11月より社会医療法人財団に改称）理事長に就任。

専門は消化器外科。全日本病院協会副会長、日本医療法人協会理事、四病院団体協議会総務部会員、石川県医師会副会長、石川県病院協会理事、日本医療機能評価機構評議員。2008年3月～11月社会保障国民会議サービス保障分科会（内閣官房）委員、現在、チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループ委員、医療計画等の見直しに等に関する検討会委員、臨床研修制度の評価に関するワーキンググループ委員（以上厚生労働省）。ヘルスケア産業プラットフォーム委員（経済産業省）。


田口 義丈
社会医療法人生長会理事長 社会福祉法人悠人会理事長

1973年3月愛媛大学工学部卒業。1973年4月金属加工メーカーを経て、1978年3月より医療法人生長会。社会福祉法人悠人会特別養護老人ホーム事務長、社会医療法人生長会法人本部事務局長を経て、2009年4月社会医療法人生長会理事長、社会福祉法人悠人会理事長に就任。

社団法人大阪府私立病院協会事務長会名誉会長、広島国際大学医療福祉部非常勤講師、大阪府公立病院のあり方懇談会委員、箕面市立病院改革プラン評価委員会委員長


山本 貴道
社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷浜松病院院長補佐

1986年浜松医科大学卒業。同大学付属病院脳神経外科及び関連教育病院勤務。

1998年ニューヨーク州立大学シラキュース校脳神経外科。

2001年ニューヨーク大学医療センター脳神経外科・ニューヨーク大学てんかんセンター。

2004年ニューヨーク大学ワグナー公共政策大学院医療管理学修士課程修了。

2004年聖隷浜松病院着任。

2008年聖隷浜松病院てんかんセンター長。

2011年聖隷浜松病院院長補佐。

主な資格：米国医師免許・脳神経外科専門医・てんかん専門医・医療管理学修士・医学博士

モデレーター略歴


松山 幸弘
キヤノングローバル戦略研究所研究主幹。オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学医学部臨床ガバナンス研究センター客員研究員。

1975年3月東京大学経済学部経営学科卒業、1992年2月著作「米国の医療経済」で九州大学から経済学博士号取得。1975年4月～1999年3月生命保険会社に勤務。その後富士通総研経済研究所主席研究員、民間医療法人専務理事、総合病院国保旭中央病院顧問等を経て、2009年4月よりキヤノングローバル戦略研究所主席研究員。2011年1月より現職。日本銀行金融研究所客員エコノミスト（1991年）、厚生省HIV疫学研究班員（1993年～1994年）、厚生労働省・社会保障審議会医療部会臨時委員（2001年）等を歴任。